

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | Kids Labo 123 谷町 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年2月6日 | | ～ 2026年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) 0 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年2月6日 | | ～ 2026年2月28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) 1 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年3月6日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 細やかな支援内容や療育プログラム内容の連絡帳配信 | 連絡帳には、「プログラムの目的」「その日の様子」「プログラム以外で支援したこと」(写真等の掲載)等、より詳しく記載することを事業所内で共有し実施している | 使用しているシステムにはスマートフォン用のアプリがあるので、保護者様にアプリについてお知らせし、保護者様と事業所間での連絡の取りやすさを向上したり、連絡帳などの配信もアプリですぐに確認出来る体制を整えていく |
| 2 | 毎月研修を実施し、スタッフのスキル向上 | 毎月1回、必須の研修を実施しており、研修後にはレポート等の提出課題を実施している | 必須の研修以外にも、勉強会等の実施を行い、より専門性の高いスキル向上を目指していく |
| 3 | 事前ミーティング等での情報共有 | 朝礼や療育前ミーティングでの情報共有を毎日実施している | システム上の業務日報などを活用し、日々の情報共有を強化していく |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者向けの研修や交流の場が少ない | 今まで保護者会の設立が出来ていなかった | 今後、保護者会の設立を目指し、保護者会の後に保護者向けの研修や交流会の機会を設けられるようにしていく |
| 2 | 外部からの研修や評価等の機会が少ない | 外部からの講師等と呼ぶ為のツールを利用していなかった | 今後、必須の研修以外にも外部からの講師を呼べるツールを利用して、職員のスキル向上に努めていく |
| 3 | 定期的な面談の機会が少ない | 管理者・児童発達支援管理者の定期的な面談等の時間を設けることが難しい状況が多かった | 今後は、人員配置等や年間計画を見直し、面談の機会を増やせるように努めていく |